





■グラウンド表層材比較表

		クレイ舗装	天然芝	人工芝	ウレタン舗装
表層材		真砂土(保湿性団粒化材混入)	省管理型野芝等	ロングパイル人工芝、ショートパイル人工芝	ゴムチップウレタン
検討路面構成					
特徴		<p>(長所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種競技に対応が可能 利用上の制限が特にならない 維持管理が容易 <p>(短所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 強風により砂埃が発生 	<p>(長所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に優しく怪我も少ない 遊びの多様化が期待できる 美観に優れている <p>(短所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技種目により利用制限がある 養生期間中の利用制限がある 生徒数が多いと芝が傷む(剥げる) 競技後の芝のダメージが大きい 維持管理の負担が大きい 	<p>(長所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 美観に優れ怪我も少ない 遊びの多様性が期待できる 競技種目により雨天時の利用が可能 <p>(短所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技種目により利用制限がある 	<p>(長所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上競技にもっとも適合 競技種目により雨天時の利用が可能 <p>(短所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 跳躍運動や競技種目等によっては体への負担が大きい
機能性 (スポーツの適正)	野球	・通常のスパイクでの利用が可能	・専用のスパイクが必要 ・バッターボックス、ベース周囲、ピッチャーマウンドは土系の舗装が必要。但し、他競技での利用に支障有り	・専用のスパイクが必要 ・バッターボックス、ベース周囲、ピッチャーマウンドは土系の舗装が必要。但し、他競技での利用に支障有り	・適さない
	サッカー	・通常のスパイクでの利用が可能	・通常のスパイクでの利用が可能	・通常のスパイクでの利用が可能	・適さない
	陸上競技	・通常での利用が可能	・適さない (トラックを土系の舗装とした場合は可。但し、他競技での利用に支障有り)	・適さない (トラックを土系舗装とした場合は可。但し、他競技での利用に支障有り)	・最も適合
	運動会等	・各種競技やイベント等に最も利用しやすい	・各種競技に利用しやすい。但し、トラックは土系の舗装とする必要がある。	・各種競技に利用しやすい。但し、トラックは土系の舗装とする必要がある。	・競技種目や内容等により利用制限が多い
維持管理		<ul style="list-style-type: none"> 使用状況により土の補填や地ならしが必要 砂埃対策が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に芝刈り、施肥、除草、灌水が必要 芝の損傷によりパッチワークが必要 時期により養生が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 5年程度を目安に充填材の補充が必要 一定期間使用により張り替えが必要 (メーカー保証一般的に8年程度) 	<ul style="list-style-type: none"> 摩耗状態により、オーバーレイ処置等が必要 一定期間使用により張り替えが必要 (一般的に5年程度で部分的な補修が必要)
総合評価		通常の学校と同じ仕様であり、各種競技やイベントに最も利用しやすい	環境に優しくまた怪我も少ないなどのメリットが期待できるが、競技内容や芝生養生等による利用制限があり、また維持管理の負担が大きい。	美観に優れ、また怪我も少ないなどのメリットが期待できるが、競技内容等により利用が制限される。	陸上競技には最も適しているが、他の競技にはあまり適さない。